

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援事業所エールマリヤ		
○保護者評価実施期間	年 月 日		年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5件
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	(回答数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	積極的な情報発信と保護者との連携	月に1回「エールだより」を配信し、療育の様子を保護者に共有している。	今後も継続的な配信を行い、よりスムーズな連絡体制の構築を目指す。
2	安全管理と危機管理体制の徹底	事故防止や感染症等のマニュアルを策定し、訓練の実施やヒヤリハットの共有による再発防止を徹底している。	動画研修(ジョブアカデミー等)を活用し、職員の意識向上と人的環境の整備を継続する。
3	チーム支援と計画的な支援の提供	支援の前後には必ず職員間で打合せを行い、役割分担や振り返りを共有するチーム体制を整えている。	訪問先施設とのカンファレンスや、標準化されたツールを用いたアセスメントの精度をさらに高める。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部評価の未実施	第三者による外部評価がまだ行われていない。	今後、3年以内を目途に外部評価の実施を考えている。
2	地域連携会議への参加不足	自立支援協議会等の地域の会議に現在十分に参加できていない。	地域の会議に積極的に参加し、関係機関とのネットワーク強化を考えている。
3	保護者・きょうだい間の交流機会	就学に向けた相談会は実施しているが、保護者同士やきょうだいの交流機会の提供に課題がある。	保護者の意向を汲み取りながら、情報提供や交流の場を新たに検討・設置していく。